

## 都立入試の今(3人に1人が落ちる時代)

東京都教育委員会が公表している「令和5年度東京都立高等学校入学者選抜応募状況」によると、2023年度の全日制普通科の最終応募(出願)倍率は1.44倍で約3人に1人が不合格となっています。その上、人気のある高校は受験生が多いため、更に競争が激しくなっています。

### 身近な学区(旧第四学区)の過去5年間の最終応募倍率

	直近5年平均		2023		2022		2021		2020		2019	
性別	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
竹早	1.672	1.934	1.62	2.2	1.77	1.88	1.97	2.07	1.65	2.09	1.35	1.43
北園	1.646	1.862	1.74	1.86	1.94	2.14	1.54	1.76	1.42	1.56	1.59	1.99
文京	1.53	1.756	1.64	1.84	1.77	1.92	1.3	1.5	1.34	1.73	1.6	1.79
豊島	1.81	1.902	2	2	1.89	2.24	1.97	1.69	1.79	1.97	1.4	1.61
向丘	1.512	1.976	1.47	1.57	1.63	2.35	1.33	1.95	1.41	2.04	1.72	1.97
高島	1.354	1.168	1.48	1.12	1.25	1.11	1.05	0.91	1.46	1.26	1.53	1.44

・過去5年間の倍率で、定員割れが出たのは高島高校のみ。

・全日制普通科の過去5年の最終応募倍率(2022年度は1.44倍、2021年度は1.42倍、2020年度は1.47倍、2019年度は1.48倍)

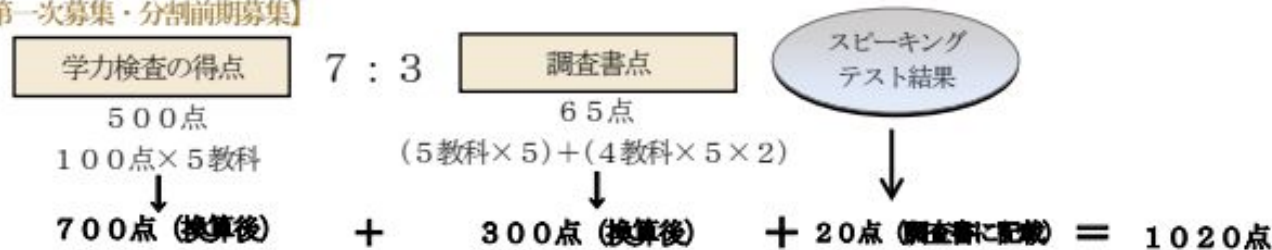
# 「男女別定員」から「男女合同定員」への段階的移行で見えてきたこと

		竹早	北園	文京	豊島	向丘	高島
10%緩和 (2022年)	男女合同と男女別との 女子合格者数の差	2	2	14	11	30	0
	合格最低点の差 (女子－男子)	9	3	13	16	53	0
20%緩和 (2023年)	男女合同と男女別との 女子合格者数の差	2	0	0	0	0	0
	合格最低点の差 (女子－男子)	3	0	0	0	0	0
男女合同定員 (2024年)							

2024年度入試で男女別定員が完全撤廃されるが、2023年度入試の時点で男女差はほとんどない状態に。  
20%緩和で女子の合格者が増えた高校は9校、男子の合格者が増えた高校は0校。

## 1020点満点の内訳

【第一次募集・分割前期募集】



### 学力検査対策で気を付けたいこと

出題されないことに時間をかけないこと。例えば国語の入試、漢字の「書き」問題では過去10年間、漢字検定4級以上の問題は出題されていません。「クラスの友達に漢字検定3級までやった方が良いと言われた」といって取り組む生徒もいますが、これは戦略(資源の配分)として誤っています。※ちなみに読みの問題は漢字検定準2級の範囲まで出題されたことがあります。「漢字検定準2級レベルはやらなくて良い」と言う声がありますが、漢字検定準2級の「読み」問題に時間を充てることは正しい戦略になります。以上の具体例は共通問題校を受験する全ての生徒に当てはまります。理想はその他の情報も取り入れながら生徒それぞれに合わせて戦略を立てることです。

### 内申点1点は学力検査の何点に値するか?

内申点を学力試験に換算しておくことで、生徒は受験を戦略的に考えることができます。

5教科内申点は、学力検査換算で約3.2点

4教科内申点は、学力検査換算で約6.5点

参考) 学力試験で漢字の読み書き問題は2点/問、数学の作図問題は6点/問です。

### スピーキングテストは学力検査の何点に値するか?

スピーキングテスト20点は、学力検査換算で14.3点。

スピーキングの採点は4点刻みなので、1段階2.8点と考えることができます。